

琉球大学学術リポジトリ

三絃説之由来

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2021-09-08 キーワード (Ja): 所収コレクション : 琉球大学附属図書館宮良殿内文庫, 宮良殿内 (みやらどうんち) キーワード (En): In Collection: The Miyara-Douchi Collection (University of the Ryukyus Library) 作成者: -, 2009/6/5 16:41 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/6225

二 陰説く由來

史記卷之八 陰説く由來 天地人くわく
なりむり 黃帝の神地を始也と乃國ハ
天子をさすなり 下は陰が方ハ地ハのり
こり乃陰ハ人ハ此つとるなり 大陰を君を以
神陰ハ陰と正小陰ハ民とを男陰者濁り
多し 神陰くも此也く人ハ君となりてハ
少くとも是也 凡そこり 凡そくも此也

君此所德也中流は前如谷川
君試いありしを民と友訓て美徳
西よりて西流執りて流成は是れ職
女流は音流一きくははは流と細
之不流は別未をア一第事一若
事と民百姓道なり是れおん
人も流とてこのときたれ中と
陰陽の光おと化生一右乃より

心学一人毎日生變て流の波も
言功の理は且天地おんこと
天道と人事ときわらるもの
言の音お通とりのこと
我之教わらふこと
何れもこのこと
天地の如くも
天地の横は

中ノ君翼て湖け 春をよもり 尤波海
ありといふとらも 萬之聖人 清地おれ 清純
事る初めらふか 一歌して けねか ともふさうと
只己が心と沈靜して 吾性枯淡 喜ひまの
夢中ノ邪念と拂ひ 妖怪と逢はせし けりき
あらせうじ 憂慮せはし 夢と憂とて
山形一鳥と成相か たらぬ 夢と逢はせし 國と夢と
天下と平ふさるの 夢と又 ともふさうと

此を以て先帝後君 政事只の こととて 去
安徳の治めたり 又中信を 信士とて 殊
之己が 徳とて ねれり 建仁の 國亂の
もとに 女信の 國百姓を 憂ふ人 ありつ
暇とて 終る 村側より ときとひ かり けり
之の 信長は 善の 信利の 花一段の こと
わ合たり 身と沈む こととて 去下 夢と
破れ 是く 夢とて あり 夢とて あり 夢とて あり

信長

附
予
の
沈
と
端
の
一
篇
く
知
夫
と
心
奇
と
知
ふ
の
又
信
と
心
此
と
心
流
と
心
一
篇
く
知
夫
と
心

性情書

琴

歌謡章
沈静篤實可歌詠

浮躁淺露彈者

己
の
志
操
漢
と
心
一
篇
く
知
夫
と
心
流
と
心
一
篇
く
知
夫
と
心

元治十一年乙酉正月五日泊村外方観

下
稿
く
知
夫
と
心

用
紙
之
反

松
紙
之
反

高
宗

